

# 議会の



## 12月定例会

議決された **議案**

- 議案第66号**  
平成25年度鶴田町一般会計補正予算（第4号）案
- 議案第67号**  
平成25年度鶴田町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案
- 議案第68号**  
平成25年度鶴田町水道事業会計補正予算（第2号）案
- 議案第69号**  
平成25年度鶴田町第1財産区特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第70号**  
鶴田町地域の元気臨時交付金基金条例案
- 議案第71号**  
鶴田町における保育所保育料に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第72号**  
鶴田町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第73号**  
つがる西北五広域連合規約の変更について
- 議案第74号**  
青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加および青森県市町村総合事務組合規約の変更について
- 議案第75号**  
鶴田町教育委員会委員の任命について
- 議案第76号**  
鶴田町固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 報告第17号**  
専決処分した事項の報告について
- 専決第14号** 損害賠償の額の決定について
- 報告第18号**  
専決処分した事項の報告について
- 専決第15号** 損害賠償の額の決定について

### ～ 概要 第4回定例会 ～

平成25年第4回鶴田町議会定例会が、12月5日から11日までの会期7日間で開かれました。  
議案11件について審議が行われ、原案どおり議決（可決9件、同意2件）されました。

## 一般質問

12月定例会一般質問の  
要旨をお知らせします

### 小関 優議員

所属会派 無所属

**町長交際費の取扱い基準を定める  
理由について**

町長交際費の取扱い基準などの公文書が無いことを町民が不安に感じております。なぜ、公文書で取扱い基準を定めないので、その理由をお知らせください。

**町長交際費各項目  
の上限額について**

町長交際費を支出するとき、弔慰、慶祝、激励、その他について、1件あたりでの上限額をいくらに設定しているのかお知らせください。

**朝ごはん条例の次  
の一手について**

朝ごはん条例の次の一手として、「より一層早寝に力を注ぎ、

十分に睡眠がとれるよう運動を進める」とのことですが、具体的にどのようなことを行うのかお知らせください。

**町の情報を発信する  
手段を増やして  
はどうか**

町の情報発信の方法には、広報つるた、お知らせ版、ホームページなどがあります。防災のことを考えると、写真と共に情報をリアルタイムで町内外へ伝えることが大切です。写真付きのリアルタイムで情報発信出来る手段を増やしてはいかががでしょうか。

**フツドリバー市姉  
妹都市交流につい  
て**

鶴田町は、約36年間フツドリバー市と姉妹都市交流を継続してきました。この実績を基に、今後どのような取り組みを行うのかお知らせください。

**新しい鶴田小学校  
の建設について**

教育委員会において学区の再編を含め検討した結果を町へ提言したとのことですが、どのような内容なのかお知らせください。総合計画にもありますように、町民との協働によるまちづ

くりを目指すためには、町民にとって必要な情報であると思いますが、いかががでしょうか。



答弁 町長

小関議員のご質問にお答えをいたしますが、9月定例会一般質問でもお答えいたしましたように、理由というのは町職員等弔慰規程そのものを行財政改革の推進にあたり廃止しましたが、その他の慶祝、見舞金等につきましては、規程の内容を基準として実施しておりますので隣接の町等の例を今後参考にしながら検討していかなければならぬと思っております。

それから、交際費の上限でございますが、交際費の弔慰、慶祝、激励、その他については、いずれも一件あたり2万円が上限となっております。

限となっております。

3点目は、朝ごはん条例のことでございますが、その朝ごはん条例の次の一手としては、「より一層早寝早起きに力を注がなければならぬ、そして十分に睡眠がとれるように運動を進める」とのことであつたわけでありまして、従いまして、子どもたちの早寝早起きに一層力を注いでいかなければならないと思っております。このことは国も進めていっていることとございますので、十分に睡眠がとれる運動を進めることの意義については、学力向上策にはさまざまな取り組みがあることは、論を待たないところであります。



△町で行われている「にぎりまんま塾」で、子どもたちは「早寝早起き朝ごはん」の正しい生活リズムを身に付けています

いところであります。そしてまた、国においても早寝早起きや、しっかりとごはんを食べることは学力向上や健康にもつながることなども発表されておりますので、そのように今後とも進めていきたいと考えております。このことは、朝ごはん条例のガイドラインにも示されておりまして、より重点項目として捉えていただきたいためでありまして、子どもたちが十分に睡眠をとることで、お腹も満たされ、落ち着いて学習に望む環境が整うことにつながり、この積み重ねがクラス全体の学習達成度に反映し、ひいては学年、学校全体の学習効果に結び付くものと考えられます。具体的には、教育委員会を通じて家庭、学校が連携をしながら、夜10時までは就寝させることで十分な睡眠と朝食をとらせるよう保護者や学校に対し、ご協力を要請し、学力向上に取り組んでいただくたいと考えております。

4点目でございますが、これまで防災の充実に取り組んでまいりましたが、町内会等の自主防災組織の組織率も55・1パーセントに達するなど地域住民の防災意識も高まっていることは大変ありがたいことであります。

さらに来年は、防災行政無線



△フッドリバー姉妹都市締結35周年記念親善訪問時の様子。この時もフッドリバーの皆さんは鶴田町からの訪問団を温かく迎えてくれました

の設置を予定しておりますが、ご質問の写真付きの情報につきましては、できる範囲で努力したいと考えております。

5点目でございますが、鶴田町はご承知のとおり約36年間フッドリバー市と姉妹都市交流を継続してきました。

この実績を基に、今後どのような取り組みを行うのかお知らせください。ということでございます。

いですが、36年間フッドリバー市と姉妹都市交流を継続してきたなかで、特に中学生大使の派遣については、これだけ長い年月を続けている自治体は日本でも数少ないと言われております。これも町民はもとより、フッドリバー市民の温かい受け入れ体制により実現できた賜であり、感謝をいたしております。非常に良いところと姉妹都市を



△水元中央小学校で行われているリンゴ籠運動の様子。子どもたちは元気いっぱいに登校し、籠に入ったリンゴを持ってきます

結ばせていただいております。フッドリバーの皆さんは温かい心で私どもを迎えてくださっていることに感謝でいっぱいでありたいです。

今後につきましても、次世代の子どもたちの国際感覚の醸成、英会話や語学力の向上の一助になれるよう事業を継続してまいりたいと考えております。英語は世界の共通語であります。

答弁 教育委員長  
小関議員のご質問にお答えいたします。

「鶴田町立小学校の規模と配置の適正化に関する基本方針」につきまして、昨年の24年の4月から今年25年の8月まで、会合を23回開きまして、議論を重ね、9月3日に町に報告しております。

主な内容につきましては申し上げますと、当町の児童数は年々

減少しており、一部小学校においてははやむなく複式による学級編制となったり、あるいは適正集団による教育活動が難しくなるなど、学校における健全な教育環境や健全な教育活動が難しくなっております。

具体的な内容を申し上げますと、平成24年の4月2日から平成25年の4月1日生まれの子どもが小学1年生となる平成31年には、町内の全児童数が平成25年の687人に比べて24・6パーセント減少し、518人になるものと推計されます。

このようなことから、昨年、平成24年度から菖蒲川、梅沢、水元中央小学校が複式による学級編制となっております。今後は胡桃館、富士見小学校においても複式による学級編制が見込まれる状況にあります。

教育委員会として、今後は学区を再編成し、町内小学校の統廃合による学校の適正配置を推進したいというふうに考えております。

学区再編の具体案としては、鶴田小学校、菖蒲川小学校、胡桃館小学校、梅沢小学校を統合し、新校舎を建設するのが良いというふうに考えております。

また、富士見小学校と水元中央小学校については、今後の児童数や施設の状況を見て、統合時期を検討します。その際には、



水元中央小学校を統合校舎として使用するのが良いのではないかとこのように考えております。

さらに、学区再編による学校統合については、仮称ですが、学区再編検討委員会を設置し、十分に協議を重ね、地域住民の理解をいただきながら進めていきたいというふうに考えております。

なお、10月29日、教育民生常任委員会で取り上げられました小中一貫校についても視野に入れて検討し、これらのメリットやデメリット等を含めて具体的に、さらにものさまたげな観点から検討が必要であるというふうに考えておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

【広報つるた有料広告】

## 五所川原第一高等学校 通信制課程 前期入学生募集

高校卒業資格を手に入れよう

- 今の学校になじめない・・・という方
- 体力的に毎日は無理・・・という方
- 一度辞めてしまった・・・という方

通信制なら、どうでしょう？

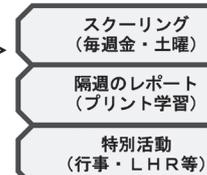
☆就学支援金（高校無償化）も適用されます。詳しくは下記まで、お問合せください。

出願期間  
☆平成26年2月17日  
～ 4月3日

出願書類の審査と面接結果で合否を判定します。

入学から卒業まで

入学



単位認定

74単位以上で卒業

1年次 2年次 3・4年次

〒037-0044 青森県五所川原市字元町6-1  
TEL 0173-26-6662 FAX 0173-26-6663

ホームページ <http://goichiko.jp/tsushin/>  
メールアドレス [goichi\\_tushin1@tenor.ocn.ne.jp](mailto:goichi_tushin1@tenor.ocn.ne.jp)

水・日/休校日

■有料広告の問い合わせは 総務課 まちづくり班 (内線264) まで